

製品名: ナトリウムカリウム ATPase アルファ-1 (リン酸化 Tyr260) ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab06083

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	115kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP1A1
別名	Sodium/potassium-transporting ATPase subunit alpha-1 (Na ⁺)/K ⁺ ATPase alpha-1 subunit) (EC 3.6.3.9) (Sodium pump subunit alpha-1)
遺伝子 ID	476.0
SwissProt ID	P05023
免疫原	アミノ酸配列範囲: 230~290 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

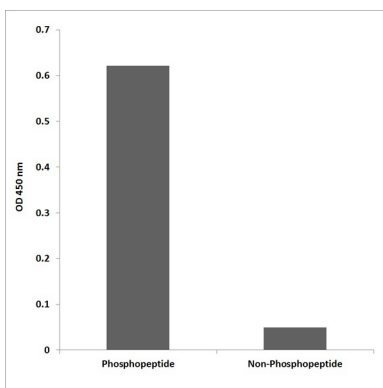
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、P 型陽イオン輸送 ATPase ファミリーおよび Na⁺/K⁺ -ATPase サブファミリーに属

します。Na⁺/K⁺-ATPase は、細胞膜を横切る Na および K イオンの電気化学的勾配を確立および維持する役割を担う膜貫通タンパク質です。これらの勾配は、浸透圧調節、様々な有機および無機分子のナトリウム共役輸送、神経および筋肉の電気的興奮性に不可欠です。この酵素は、大きな触媒サブユニット（アルファ）と小さな糖タンパク質サブユニット（ベータ）の 2 つのサブユニットで構成されています。Na⁺/K⁺-ATPase の触媒サブユニットは、複数の遺伝子によってコードされています。この遺伝子はアルファ 1 サブユニットをコードします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。RefSeq 提供、2009 年 5 月、触媒活性: ATP + H₂O + Na⁺(In) + K⁺(Out) = ADP + リン酸 + Na⁺(Out) + K⁺(In)、機能: これは活性酵素の触媒成分であり、ATP の加水分解と細胞膜を介したナトリウムイオンおよびカリウムイオンの交換を触媒します。この作用により、ナトリウムイオンとカリウムイオンの電気化学的勾配が生成され、さまざまな栄養素の能動輸送に必要なエネルギーが供給されます。、PTM: Tyr-10 のリン酸化はポンプ活性を調節します。、類似性: 陽イオン輸送 ATPase (P 型) ファミリーに属します。、類似性: 陽イオン輸送 ATPase (P 型) ファミリーに属します。IIC 型サブファミリー。細胞内局在: 質量分析により、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画中に同定される。サブユニット: α (触媒)、β、γ の 3 つのサブユニットから構成される。HLA クラス II 組織適合抗原 DR1 に結合する。

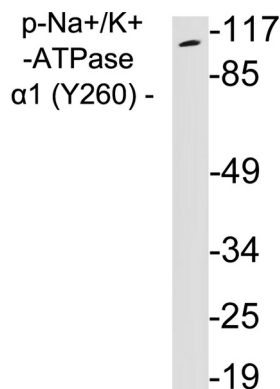
研究分野

心筋収縮、アルドステロンによるナトリウム再吸収

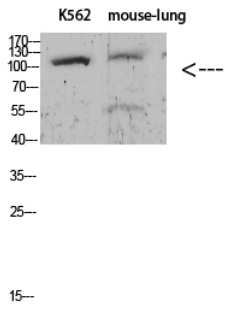
画像データ



リン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）に対する Na⁺/K⁺-ATPase α1（リン酸化 Tyr260）抗体を用いた酵素結合免疫吸着測定（リン酸化 ELISA）



PMA 処理した 293 細胞溶解物を、リン酸化 Na⁺/K⁺-ATPase α1（リン酸化 Tyr260）抗体を用いてウエスタンブロット分析した。



KB Hela ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈。二次抗体は 1:20000 倍に希釈。